

学びを結果に変える

小3＝新小4 中学受験準備講座のお知らせ

1月14日（土）から1月28日（土）まで、小3生の無料講座「新小4 中学受験準備講座」が行われます。随時参加が可能ですので、途中参加も大歓迎です！

- ・ 中学受験新小4クラス授業について行ける計算力の養成
- ・ 小3内容の総復習

など2月1日（水）からスタートいたします中学受験新小4クラスでの学習をスムーズに進められるようにフォローしてまいります。

★中学受験のスタートは大手塾を含め、基本、2月スタートです。1ヶ月も参加が遅れたら、追いつくのが大変で個別指導が必要になるケースもございます。是非、本講座を受講ください。

★本講座、もしくは冬期講習にご参加の方は、「入塾テスト」は必要ございません。

授業内での様子から、学力判定を行っておりますので、ご安心ください。

一方、上記講座に参加されたからといって「中学受験クラス」に入ることを約束するものではありません。学力的に著しく低い場合や、学志館が行います指導に従って努力する姿勢が見受けられないなど、中学受験は難しいと判断した場合は、弊社よりご連絡させていただき、個別指導や、ジュニアクラス（公立中学進学コース）などをお勧めする場合がございます。現在までに、上記講座に参加されていて中学受験クラスへの学習が認められなかった生徒さんは全体の2%程度です。ご安心ください。

★参加費用は無料。プリント代などの、その他諸費用も必要ありません。

■場所：学志館くずは本校

■時間

①算数12：15～12：55

②国語13：00～13：40

※国語のみ、算数のみなどの1教科受講も受け付けております。



ご兄弟、姉妹で小3生はおられませんか？お友達など、小3生（4月から新小学4年生）の方と一緒にぜひご参加ください。

※クラス授業は兄弟姉妹割引（半額、全額無料など）がございます。お得に通塾可能です。

個別指導の場合も20%オフが適用される割引がございます。是非、ご相談ください。

■中学受験は特殊な勉強？いいえ、そうではありません。

通っていただきますとわかりますが、高校受験される成績上位者（上位 2%程度に入る偏差値 70 程度）の方の多くは中学受験経験者であったり、そのレベルの学習を進めていらっしゃる方です。学志館でも毎年「中学受験しないけれども受験コースで算数（もしくは国語）のみ学習する、あるいは算国だけ学習するという方がいらっしゃいます。中学受験で偏差値 60 程度にいと、その後の高校受験での偏差値は 70 程度となります。過去の（中学受験しないけれども中学受験コースで学習されていた）学志館生も洛南高校の最上位クラスや偏差値 65 以上の私立、公立高校へ楽々と進学していかれました。

小学校の学習が簡単すぎると学志館は考えています。

「うちの子は、小学生の時はできていた」と、中学校へ進学後に学志館に入られた方の多くが言われます。小学生時代は、担任の先生が様々な科目の指導を行うため、難しい問題の指導ができません。「わからん！」の大合唱となるような応用問題や文章題は、必然的に量が少なく指導が困難となります。そして中学校へ上がってきた 10 名のうち、約 5 名程度が平均前後の成績（5 段階中 3）になります。それは、「小学生の時はできていた」のではなく、「平均前後の成績だという事を知らされずに 6 年間過ごしてきただけ」だという事です。各中学校の上位 35%程度以内にいないと、牧野高校、寝屋川高校、四條畷高校、大手前高校には入れないと言われる現実を知らずに、皆さん「小学校の時はできた」とおっしゃられます。中学受験のためだけの学習ではなく、それが中学校へ行ってからの高い学力にもつながっている（学志館では、算数などは線分図や面積図などの中学受験特有の指導法+方程式も指導します。中学進学後も使える学力の養成が可能です）ことをご理解いただき、是非、学習のスタートを切ってみられてはどうでしょうか。

中学受験小 4 生の月謝（授業料）は、ジュニアクラスなどの公立中学校へ進学される方のためのコースの価格+数千円程度です。その金額で、算数ですと、小 4 の間に、公立小学校の 6 年生までに学習する内容の、ほぼ全ての単元+特殊算をマスターします。



更に、学志館では、パーフェクトテストと呼ばれる無料の復習指導を、「わからなければ全問教えます」「無料です（受講科目のみ）」「それで平均 80 点以上が取れていたら、偏差値 50~55 程度以上となり関関同立は合格できるレベルになる」=誰もが、諦めずに、これさえやってくれたら！という課題を仕上げるだけで関関同立は合格できるラインに、大部分の生徒さんの学力が養成されております。こんなにコストパフォーマンスが高いことはないと思っています。もちろん、関関同立の合格が見えてきたら、偏差値 60→65 と伸ばしていき、各都道府県の No.1、No.2 の難関私立中学校への合格を目指すことも可能です。そして、その指導も学志館の講師のみで行っております（●●中学校特訓は、別の校舎に移動して下さいと言われることもありません）。

更に、大手塾ですと、「長蛇の列で質問できない」場合や、そもそも中学受験を指導できる担当者が質問室にいないケースも目立ちます。また、大手塾で働いていたからこそわかりますが、「最上位生中心に合格させるために質問受けをしなさい」＝合格実績至上主義が大手塾の当たり前です。学志館は多くても各学年 20 名程度です。塾長村山と校長宮城が積極的に無料の質問ルームに入って対応を行っております。

塾内に、「2月の勝者」という大ヒットした中学受験漫画を置いていますが、僕はこうした「精神的に追い詰められて悲壮感が漂う」「家庭内でとんでもない不和が起こる」「お子様の顔から精気が抜け、元気がなくなる」など、中学受験は子供への負担が大きすぎるという事を過度にあおった内容を見ると、「中学受験は別世界」と切り捨ててしまわれるご家庭も少なくないと感じます。しかし、学志館での学習を見ていただくと、きっと無用の心配だったと感じていただける。村山は、上記のようなことが嫌で大手塾をやめ、「できない事、難しい事なんだけど、将来のためにやっておかないといけない事に笑顔で挑戦できる子供を育てたい」と思い学志館を妻の宮城とともにやっております。大人でも頭をひねり、解けないような問題を、小さな小学生が「できた！」「そんな風にして解くんだ！！」と目を輝かせて学ぶ姿を、きっと親御さんは見るようになります。そして、そんな問題は、中学受験レベルの学習でないと存在せず、(公立小学校での学習で困っていないお子様からすると)物足りないのです。

「いつやるの、今でしょう！」の林修先生もおっしゃられています。
勉強にフライングはない。どんどん先に学んでOKだと。

僕も本当にそうだと思っています。そして知っていただきたいのです。大学受験で東大や京都大学への合格を多数輩出している私立の大部分は、高2までに高3内容の学習を終えます。それは、正に飛び級であったり、どんどん先に学ぶことで未来を変えるチャンスを広げていると言えます。ノイローゼのように青い顔をして勉強するんじゃなく、笑顔で難しい問題に挑戦する子に育てる。解けなくてすぐに「やーめた。こんなん無理」と諦めるのではなく、あーでもない、こーでもないと考え、できなかった事をできるようにする。そんな未来を変えていく子に育てる学びを志していただきたいと学志館は考えています。

最後に、「教育は、最後には人が全て」だと村山は思っています。

賢い先生が、勉強を教えるだけなら、映像授業やタブレット学習で充分です。しかし学志館は違います。

「こっちからやってみようか」「その問題は後回し。今はこれをやろう」「何であの子にはAを勧めて、私はBなのかって？それはね、君とあの子の学習姿勢や、得意や不得意、志望校も違うからだよ」と言うような塾です。大手塾には大手塾の強みが、そして、学志館には学志館の強みがあり、それをわかって通ってくださっている方が、学志館を最大限利用して、志望校に合格していかれます。どちらが良い悪いではありません。お子様にとって、どちらが合うのか？という事です。

学志館で、共に学習できるのを楽しみにしております。

塾長：村山 雅之、校長：村山 喜佐子（旧姓：宮城）